

最適な物流構築について

2015年7月23日

株式会社富士ロジテック



富士ロジテック

弊社の立ち位置

- 設立1918年
 - 清水港の港湾運送会社の倉庫部門が発祥
- 拠点
 - 北関東～福岡までの20営業所
 - ロス・釜山・上海・シンガポールなど
- 取扱品目
 - 食糧、鋼材、化学原料、紙パルプ、食品、飲料、茶、原海苔
 - 雑貨、布帛、薬品、医療機器、化粧品、電材、など
- 社員数250名＋パート社員500～1000名
 - 倉庫部門8割

弊社の立ち位置 2

- 資本金3億円
- 2014年8月期売上170億円
 - 上場倉庫会社に満たない規模の中堅倉庫
- グループ8社で250億円
 - 倉庫、利用運送、海上貨物取扱、港湾運送、
 - 物流不動産、コンサルティング、派遣、リース、
 - システム開発、機械設計、物販、製造加工、
 - など

事業観

- 1996年 家業の稼業に、2005年 社長(33歳)
 - 倉庫は銀行業に似る
 - 汗をかいているのだが、意外と報われない
 - 田舎倉庫は利用目的も物量も熾烈な競争下にある
- 2009年からの方針(倉庫業の生きる道として)
 - ①安全②安心③約束
- 2013年から(物流業の生きる道として)
 - Global Supply-chain Engineering (GSE) 企業
 - 「お客様の不利益が我々の利益」構造から脱却
 - 顧客のサプライチェーンを低コストで最適化し続けるパートナーとなる

事業観 2

- 業界全体の生きる道？
 - 人口減少社会において、如何にして高付加価値、すなわち、顧客の経営効率をあげるサービスを提供し続けるか
 - 自動化
 - ソフトウェアだけでは差別化しにくい
 - 機械・情報・通信の要素技術が拡大する価格になった
 - → 物流機器を自分で作る
 - 移民・派遣
 - 軽作業に付加価値はない、本当か

人を介さず、最適な物流構築

- 目指せ「輸配送における待機時間0」
 - 工場内(もしくは倉庫内)作業の進捗情報を発信し、かつ、運行車両の現在位置や速度が受信できる工場(倉庫)を増やしていく
- 庫内作業者の動線把握と、人工知能・機械によるリアルタイムで最適な作業指示
- 輸送・搬送・結束などの自動化
 - 専用道路・ヤード内での自動運転を行う
 - 場内での小さな自動化の知恵を出す

人を介さず、最適な物流構築 2

- 異業種工場(倉庫)群を複合ビルに移転し、搬送を減らす
- 一番贅沢なリソース「人」を浪費から解放